

## 主な石工の略歴

### 小松利平布弘

1804年（文化元年）信州高遠入野谷奥浦で生まれる。高遠藩の旅石工として活躍。帰郷せず浅川町福貴作に定住し工房を構えるとともに、弟子を養成した。1888年（明治21年）85歳で没する。

### 小松寅吉布孝

1844年（弘化元年）現石川町山形の高原家の長男として生まれる。小松利平の弟子として丁稚奉公。慶応2年22歳の時、利平の長男彦蔵と養子縁組。1915年（大正4年）72歳で没する。

### 小林和平

1881年（明治14年）現石川町沢井で生まれる。12～3歳で小松寅吉に弟子入りする。27歳で小林ナカと結婚し、独立する。3人の子供を亡くした悲しみを、子獅子に託して彫ったといわれる。1966年（昭和41年）86歳で没する。

### 野田平業

明治31年白河市横町に生まれる。稲香という雅号を持ち、画家を志すも、許されず家業を継いで石工となった。10代より狛犬を彫りその作風は力強く、重厚で、籠彫りなど高い技術で県南地方を中心に県内外に多くの作品を残した。

### 梅沢敬明

富山県に生まれ東京美術学校（現東京芸大）彫刻科で学んだ異色の石工、戦中浅川町富貴作に疎開し工房を開いた。

## その他の石像物

6 石柵

白河市  
新地山羽黒神社

小松寅吉 作  
(明治30年)



20

波乗りうさぎ 石川町 沢井八幡神社  
小松利平 作 (天保14年)



23 仁王像

浅川町  
富貴作公民館

小松寅吉 作



24

坂本観音 白河市東  
小松寅吉 作 (明治40年)



狛犬ネットワーク事務局（高久真隆）

〒961-0301

福島県白河市東下野出島字坂口 303-8

電話（携帯）：090-1493-6632

FAX：0248-34-3299

福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）

# 狛犬巡りマップ

狛犬の棲む里

福島県  
県南地方

## 狛犬とは

神社の前に対となって建てられている恐ろしい顔をした動物を狛犬といいます。仏教の伝来とともに日本に入ってきたといわれています。高貴なものを護るための神獣として、皇居に取り入れられました。やがて神社の参道に建てられるようになりました。蹲踞型が基本ですが、現在では、獅子山型・飛獅子型など石工の創意工夫により様々な形の狛犬があります。その起源はエジプトのピラミッドのスフィンクスであり、沖縄のシーサーなどもその流れを汲むものであるといわれています。

## 福島県県南地方に石造文化が栄えたわけ

石川郡浅川町福貴作に「福貴作石」と呼ばれるきめが細かく細工しやすいと同時に摩耗しにくいという良質な石が産出される。それに着目したのが、信州高遠藩入野谷郷浦出身の石工小松利平であった。旅石工として藩を出て、浅川町福貴作に定住したのが天保年間である。石切目付に見つかり連れ戻されることを恐れ、生涯にわたり自分の名前を作品に刻むことはなかった。天才肌で高度な技術を持っていた利平は弟子の育成に情熱を注ぎ、弟子であり小松家の養子とした小松寅吉にその技を伝授し、狛犬をはじめ多くの石造物を残した。寅吉の技はその一番弟子である小林和平に受け継がれ、三代にわたる天才的な石工によって数多くの作品が残されたのである。

福島県県南地方狛犬ネットワーク